



輝く希望の未来へ

小野町長 六戸 良三

新年明けましておめでと
うございます。

平成24年の年頭にあたり、謹んで新春を賀し新年のお慶びを申し上げます。

町民の皆さまには幸多き一年となるよう心からご祈念申し上げます。

お祝いのことばに「福・禄・寿」がよく使われますが、この中で「福」は、一家が円満で家族が皆元気に、子孫が繁栄することを表し、「禄」は、収入や財産に恵まれ、生活が安定していることを表します。「寿」は、長命長生きを表します。

お正月に際し、町民の皆さま全員に「福・禄・寿」のお祝いのことばを重ねてお贈りしたいと存じます。

昨年を振り返りますと、東日本大震災が発生し、その後も会津地方の集中豪雨、台風12号、台風15号に

より被害を被るなど災害多発の年でありました。

あらためて犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

大津波は膨大な財産と貴重な生命を根こそぎ奪い去りました。さらには東京電力福島第一原子力発電所に壊滅的な打撃を与え、多数の方々が今なお自宅に戻れず不自由な避難者生活を強いられております。

事故により放出された放射性物質は県内全土に広がり、風評被害をはじめさまざまな問題を引き起こしました。

健康への懸念や地域産業への大きな影響、経済の停滞や賠償など問題山積しておりますが、町といたしましてはこれら諸問題の解決

へ向けて全力で取り組んでいるところでございます。

普通生活がどれほど貴重なのか、人と人の絆がどれほど大切か、すべての人が身をもって体験しました。

「備えあれば憂いなし」と申しますが、あらためて安全・安心・防災の重要性を体感し、町防災計画の見直しに着手しているところであります。

幸い学校施設におきましては、小野新町小学校の校舎と体育館、夏井第一小学校・飯豊小学校・浮金小学校の体育館などの耐震補強工事が震災直前に完了しており今回難を免れました。

耐震強度が一番心配されておりました小野中学校につきましては、普通校舎が大震災前に出来上がり、生徒や教職員は引越越しを済

ませていたことから安全を確保できたものであります。

昨年中には待望の給食センターが完成し、そして新しい体育館と特別教室が順次竣工し、すべて供用を開始することができました。

プールの復旧工事や旧校舎撤去工事、外郭工事等が本年完了する予定でありますので、平成24年度には総合落成式を挙行したいと考えております。

また浮金小学校と浮金中学校の児童・生徒の皆さまには大変ご不便をお掛けしておりましたが、小学校の校舎復旧工事が昨年の11月に完了し、年末には引越越しを済ませ、今月からそれぞれ本来の校舎で授業を再開することができるようになりました。

浮金中学校の皆さまには、浮金小学校の皆さんを迎えて一緒に校舎を使っていたいただき、あらためて感謝を申し上げます。浮金中学校の体育館も本年2月には復旧工事が完了する予定です。

学校施設以外の災害復旧工事につきましては、査定

や発注など順調に進捗しており、町民の皆さまのご不便もまもなく解消できるものと考えております。

今月から東日本大震災に対する特別措置法が施行されましたが、除染計画・復興計画を早期に策定し、美しい小野町を取り戻すと同時に、町民の皆さまの安全安心を図っていく所存であります。

併せて、第四次小野町振興計画に基づき、町の将来像の「きらめく人と自然 あったか小野町」に向かって基本目標の「すこやか」「はぐくみ」「げんき」「さわやか」「あんしん」の5つの目標を着実に実現していきたいと考えております。

子どもたちが、夢を持って健やかに成長し、希望の未来へ大きく羽ばたいていく、子どもからお年寄りまですべての方々が「笑顔で頑張れる」幸せな町を構築していきたいと存じます。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸をあらためてご祈念申し上げます。措辞ではありますが年頭のごあいさつに代えさせていただきます。